

経皮経肝胆道（胆嚢）ドレナージ術（PTCD）を受ける（ ）さま

月日	月 日	治療当日	月 日	月 日	月 日
病日	治療前日	治療前	治療後	治療後1日目	治療後2日目～
目標	・治療について理解できる	・治療を受けることができる	・痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる ・お腹が張って苦しい感じがしない	・痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる ・ドレーンの取り扱い方法がわかる	・ドレーンの取り扱い方法がわかる
内服	血液をサラサラにする薬は中止します それ以外のお薬は通常どおりです	朝食後の薬は、血圧と痛み止め以外は中止になります	血液をサラサラにする薬以外は再開します		
注射点滴		治療30分前に筋肉注射をします 治療30分前から点滴を始めます 	抗生剤の点滴を行います 〔午前治療の場合 2回〕 〔午後治療の場合 1回〕 	抗生剤の点滴を行います （朝・夕）  夕方の点滴終了後、針を抜きます	
検査	血液検査	治療中は心電図モニターを装着します		血液検査	
検温 血圧測定	1日1回（10時） 	6時、10時、治療前、治療後	帰室時、帰室後30分、1時間、3時間 14時、19時	1日2回（10時、19時）	
栄養	制限はありません	□午前治療の場合 朝食はありません 6時以降、飲水はできません □午後治療の場合 昼食はありません 10時以降、飲水はできません	治療3時間後から飲水・食事ができます 	制限はありません	
活動	制限はありません	術衣に着替えます ベッドで治療室に移動します 着替えや移動は看護師がお手伝いします	治療3時間後、痛みがなければ座ったり歩いたりできます （トイレ歩行程度にしましょう） はじめて歩くときは 看護師が付き添います	病棟内の歩行に制限はありません	制限はありません
清潔	シャワー浴をしましょう			体を拭きます ガーゼを交換します	シャワー浴ができます ガーゼは防水テープで保護します 
その他	医師より治療の説明があります 同意書にサインをして看護師に渡してください 看護師が準備等について説明します	腕時計、眼鏡、コンタクトレンズ、入れ歯、ネックレス、ヘアピンなどの装飾品は外してください	医師が治療結果を説明します 看護師が治療後の注意事項を説明します		ドレーン（排液のための管）が入ったまま退院される場合は、看護師が退院後の日常生活の注意点について説明します 「お腹の管（PTCDチューブ）の管理方法について」パンフレット参照

ドレーン（排液のための管）について

- ・排液バッグは挿入部より下にしましょう
- ・排液バッグは袋に入れて持ち運びましょう
袋に入れることでドレーンにゆとりができます
突っ張らないようにしましょう
- ・着替えをする際は、ひっかけたりしないよう十分に注意しましょう
- ・看護師が毎日ガーゼを交換します

※次のような場合は、看護師にお知らせください

- ・ガーゼが汚れたとき
- ・管のまわりから胆汁が漏れたとき
- ・胆汁の量が急に減っているとき
- ・急な腹痛があるとき

